

未来投資会議 第2回 産官協議会（次世代ヘルスケア）「人生百年健康年齢」 日本経済再生総合事務局 参考資料

【本テーマの位置付け】

「成長戦略の方向性（案）」の 「3つの検討の柱」のうちの第2・「全世代型社会保障への改革」

② 全世代型社会保障への改革

生涯現役社会の実現に向けて、意欲ある高齢者に働く場を準備する。併せて、新卒一括採用の見直しや中途採用の拡大、労働移動の円滑化といった雇用制度の改革について検討を開始する。また、人生百年時代をさらに進化させ、寿命と健康寿命の差を限りなく縮めることを目指す。現役時代から自らの健康状態を把握し、主体的に健康維持や疾病・介護予防に取り組み、現役であり続けることができる仕組みを検討する。

■ゴール:「人生百年健康年齢」

現役・勤労世代から自分自身の健康状態を把握、主体的に健康維持や疾病・介護予防に取り組める仕組みにより、老化・生活習慣病に対し、予防・生活管理、モニタリングまで含めトータルなソリューションを提供。

◆ 以下の項目等について検討

- 糖尿病・認知症予防、フレイル（高齢者虚弱）対策等のため、保険制度の中で保険者へのインセンティブ措置を手当
- 投資家による健康経営へのシグナル（健康経営銘柄への投資を促進）

※ 未来投資会議（10月5日（金））資料5「成長戦略の方向性（案）」より関連部分抜粋